

平成30年(2018年)7月27日

れきみん

# 資料館だより

No. III-14

相生市立歴史民俗資料館

## 調べやすい、相談しやすい「れきみん」に

当資料館利用者の目的は、展示資料の見学のほかに、市民・児童生徒や市外歴史愛好者の情報収集・相談、教員の教材研究、研究者・学生の資料調査、関係者の埋蔵文化財包蔵地の確認等、実に様々です。また、電話やメールでの問い合わせや相談もあります。

当資料館では、利用者の多様なニーズに応えられるよう努めています。特に、「小さな資料館」であることを強みにして、知りたいことや調べたいことがあれば「気軽に相談できる資料館」にしていきたいと考えています。『相生市史』をはじめ市域の歴史関連書籍も開架し、調べやすくしていますので、ぜひお立ち寄りください。

### 〈資料紹介9〉相生市域出土の装飾付須恵器—特別展開催に寄せて—

9月29日(土)～10月14日(日)に特別展「あいおいの古墳出土須恵器」(場所:相生市立図書館2階「思索の広場」)を開催します。

須恵器は、青灰色をした高火度焼成の焼物です。古墳時代中期に朝鮮半島から渡来人によって伝えられ、古墳時代～平安時代に盛んに作られました。

古墳では、須恵器を用いた儀礼が行われていました。当初は墳丘上で行われていましたが、横穴式石室が導入された古墳時代後期には、石室内での食物供献儀礼等に使用されるようになったようです。

古墳から出土した須恵器の中には、壺・台付壺・器台・高杯・蓋などに小型の壺や杯、人物・動物の小像などを飾り付けたものがあり、それらを装飾付須恵器とよんでいます。西播磨地域では、これまで22古墳(遺跡)・33点が知られていました。大半は旧揖保郡・飾磨郡の領域からの出土例で、大部分が旧赤穂郡域東部に当たる相生市域では、わずかに1古墳(遺跡)・2点しか知られていませんでした。

ところが、昨年10月に寄贈していただいた資料(故・平井漢氏所蔵資料)の中に、台付壺の肩に付いていたと思われる小像(人物)1点が含まれていました。この小像は、1961年(昭和36)8月、すでに半壊状態であった古池横山2号墳の横穴式石室から、平井氏が他の資料(須恵器杯身・高杯・提瓶、土錘、水晶製切子玉など)とともに採集したものと考えられます。



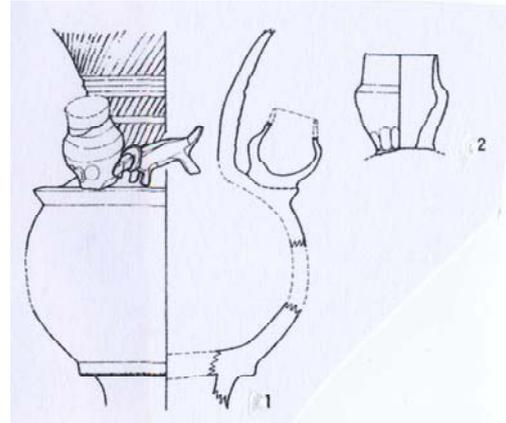
古池横山2号墳出土装飾付須恵器小像

小像は灰色を呈し、高さ 4.5cm、腰幅 1.2cm を測ります。目と口を点と線で表現し、左腕は横に、右腕は前方に伸ばしています(右腕先端は欠損)。下部は接合が剥がれた面が見られます。

古池横山とは、かつて長池の西側にあった丘陵(現在は削られ、向陽台の宅地になっている)のことです。2号墳のすぐ北西には1号墳が存在していました。1号墳も横穴式石室を有していたと思われ、平井氏はこの古墳からも1940年代末～50年代初頭に須恵器(提瓶・短頸壺・杯身など)を採集していますが、1960年代初頭には壊滅寸前だったようです。

これまでに知られていた例は赤穂市立有年考古館所蔵資料で、若狭野町西後明から出土したとされている装飾付台付壺(1)と子壺(2)です。

1は口縁部と脚部の大半を欠いていますが、球形の胴部の肩に凸帯を貼りめぐらせ、その上に子壺と犬と思われる動物がとり付けられています。子壺は2個、動物は1体残存していますが、剥落痕が認められるので、元は他にも付いていたと考えられます。脚部には長



西後明出土装飾付須恵器実測図 [1:4]

(岸本道昭ほか1991)

方形の透かしがあり、頸部にはクシ描き列点文列点文が3段にわたって施されています。胴部の最大径約15cm、高さ30cm余りに復元できそうです。2の小壺は、1と同一個体である可能性もありますが、口径3.6cm、高さ5.0cmを測り、1の小壺より一回り大きいので別個体と思われます。

いずれも、6世紀中葉～後葉ごろのものとみられます。古墳から出土したと考えられていますか、正確な採集地点や出土状況は不明です。

装飾付須恵器が3個体以上出土したのは、西播磨地域では見野長塚古墳(姫路市)・西宮山古墳(たつの市)・小丸山2号墳(たつの市)の3古墳のみで、いずれも墳長35m以上の前方後円墳です。2個体の出土例は、西後明のほか2古墳(遺跡)が知られています。

装飾付須恵器は渡来系集団との関わりが指摘されることもあり、装飾付須恵器を用いた儀礼が具体的にどのようなものであったのか、興味は尽きません。

〈参考文献・図出典〉

井守徳男 2005「兵庫県出土の装飾付須恵器集成(3) -西播磨地域・補遺-」『兵庫県埋蔵文化財 研究紀要』第4号(兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所)

岸本雅敏 1975「装飾付須恵器と首長墓」『考古学研究』第75号(考古学研究会)

岸本道昭ほか 1991『有年考古館蔵品目録』西播流域史研究会編(財団法人 有年考古館)

山田邦和 1998『須恵器生産の研究』(学生社)

義則敏彦 2008『特別展 古代人の造形』たつの市立埋蔵文化財センター図録5(たつの市立埋蔵文化財センター)

\* 古池横山古墳群について、鈴木豊彦氏から有益なご教示をいただきました。また、西後明出土資料をはじめ赤穂市立有年考古館所蔵資料について、山中良平氏(赤穂市教育委員会)からご教示・ご配慮をいただきました。記して感謝申し上げます。

(中濱久喜)